

A decorative border with floral motifs in the corners and a thin line connecting them.

令和4年第1回富谷市議会臨時会

市長挨拶

令和4年1月14日

富谷市長 若生 裕俊

～『住みたくなるまち日本一』を目指して～

本日ここに、令和4年第1回富谷市議会臨時会が開会されるにあたり、一言、ご挨拶を申し上げます。

議会の皆様には、日ごろより市勢発展のため、ご尽力いただいておりますことに、改めて感謝を申し上げます。

市制施行6年目となります令和4年がスタートいたしました。

これまで、「住みたくなるまち日本一」をまちづくりの将来像に掲げ、一貫して富谷市の発展と市民皆様の福祉の向上のため様々な施策に取り組んでまいりました。

本年も、市民の皆様の「心」に寄り添い、真摯に耳を傾け、特に声なき声にはより丁寧な対応を心掛け、常にスピード感を持ちながら、一つひとつの施策に丁寧に向き合いながら「住みたくなるまち日本一」目指し、職員とともに取り組んでまいります。議会の皆様には、引き続き、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

また、本年は、文部科学省の指定を受け、全国で18校目、東北では初となる「不登校特例校 富谷中学校西成田教室」を4月に開設いたします。西成田コミュニティセンターの豊かな自然を背景に、「富谷の宝・財産」である子どもたちの一人ひとりの多様性に配慮しながら、社会的な自立につなげられるよう支援してまいります。

続きまして、新型コロナウイルス感染症への市の取組について申し上げます。

市民の皆様には、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策の推進に、ご理解とご協力をいただき、深く感謝を申し上げます。また、最前線でご尽力されている医療従事者の皆様に対し、心より感謝を申し上げます。

現在、新型コロナウイルスの新しい変異株である「オミクロン株」による感染者が国内においても急激に増え続けており、県内においても感染者が確認されるなど、さらなる感染の拡大が懸念されているところです。感染力の高い変異ウイルスであると言われておりますので、市民の皆様におかれましては、引き続き、基本的な感染対策を徹底していただくよう、お願いいたします。

このような中、本市における新型コロナウイルスワクチンの3回目追加接種については、黒川医師会のご協力により、県内でもいち早く、今月18日から一

般高齢者の接種を開始することといたしました。

現時点においては、2回目の接種から7か月を経過した方に対し、今月6日から順次、接種券を発送しております。今後はワクチンの供給状況等を考慮しながら、でき得る限り速やかに、接種が可能となるように努めてまいります。

また、5歳から11歳のお子さんへの接種についても、国の方針により、3月以降の接種開始に向けて、医療機関等と調整を図っているところであります。

今後とも新型コロナウイルス感染症の発生状況を注視し、各関係機関と密に連携しながら、迅速な対応に努めてまいります。

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、様々な困難に直面した方々が支援を受けられるよう、住民税非課税世帯等に対して、1世帯あたり10万円を支給することを国が決定したことを受け、本市といたしましても、一刻も早く支援をお届けしたいと考えております。

また、子育て世帯への臨時特別給付金事業につきましては、国の指針により、給付の対象要件に養育者の所得制限を設けておりましたが、本市の独自支援策として、特別給付金の対象とならなかった子育て世帯に対しても児童1人当たり10万円を給付することといたしました。

本臨時会は、これらの関連経費を計上した補正予算のご審議をお願いいたしたく、招集させていただいたものでございます。

議会の皆様には、趣旨をご理解いただき、ご審議賜りますようお願い申し上げ、挨拶とさせていただきます。